

確定日（令和02 年 03 月 19 日）

事業コード	02010303		政策コード	02	政策名	社会の変革へ果敢に挑む産業振興戦略								
事業名	ヘルスケア産業振興事業			施策コード	01	施策名	成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成							
				指標コード	03	施策目標(指標)名	産学官連携による医療福祉関連産業の育成							
部局名	産業労働部	課室名	地域産業振興課		班名	技術振興班	(tel)	2246	担当課長名	工藤 千里	担当者名	高橋喜代孝		
評価対象事業(計画)の内容										事業年度	令和02年度 ~ 令和05年度			
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 本県では急激な人口減少と高齢化が進行しており、健康寿命の延伸と元気な高齢者が地域社会を支える体制を構築することが急務となっているものの、健康寿命は全国で下位となっている。また、公的医療保険・介護保険以外の健康保持・増進に働きかける産業であるヘルスケア産業は市場規模が今後急速に拡大すると見込まれており、成長分野としてのヘルスケア産業への県内企業の参入が必要である。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 産学官金医療・介護など関係団体の連携により、ヘルスケア産業への県内企業の参入を促進し地域経済の活性化を図るとともに、本県の健康寿命日本一達成に寄与することを目的とする。 (重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望									
					4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 秋田県 事業の対象者・団体 秋田県次世代ヘルスケア産業協議会 達成のための手段 令和元年8月に設立した秋田県次世代ヘルスケア産業協議会会員のネットワーク強化を図るとともに、全国の先進事例やITを活用したデジタルヘルスケアビジネスの具体的展開手法等に関する情報提供を行い、企業間連携や異業種連携の促進により新しいヘルスケアビジネスを創出し、本県の産業振興につなげる。									
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 ■ 受益者 ■ 一般県民 (時期： H31 年 03 月) ニーズの把握の方法 □ アンケート調査 ■ 各種委員会及び審議会 □ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的内容 秋田県産業サポータークラブから、県民の健康寿命を延伸し、また成長分野でもあるヘルスケア産業への参入を促進するよう提言があった。					比較した代替手段及び選択した手段の有効性 国では次世代ヘルスケア産業協議会を設立しており、各地域においても地域版次世代ヘルスケア産業協議会の設立を推進している。国や他地域の協議会と連携しながら、今後の市場拡大が見込まれるヘルスケア産業の創出に向けたオール秋田での取組を促進するためには、秋田県次世代ヘルスケア産業協議会の設置が最も有効であり、デジタルヘルスに関するワークショップの開催等により企業間連携や異業種連携が促進され、県内企業による新製品や新サービスの開発促進や付加価値生産性の向上が見込まれる。									
把握してない場合の理由及び今後の方針														
理由														
今後の方針														
5. 事業の全体計画及び財源														
単位(千円)														
順位	事業内記			左の説明			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画	
01	ヘルスケア産業ネットワーク事業			秋田県次世代ヘルスケア産業協議会のネットワーク強化を図るとともに、協議会員や県内企業にヘルスケア産業の最新の動向や今後の可能性についての情報提供を行う。			1,358	1,358	1,358	1,358	0	0	5,432	
財源内訳		左の説明						1,358	1,358	1,358	1,358	0	0	5,432
国庫補助金								0	0	0	0	0	0	0
県債								0	0	0	0	0	0	0
その他								0	0	0	0	0	0	0
一般財源								1,358	1,358	1,358	1,358	0	0	5,432

